

# つばさ

平成 29 年度 生涯学習課だより

第 310 号 (2 月)



教育長 佐々木浩治

穏やかで雪の少ない年の始まりとなりましたが、皆さんにとりましてはどのような1年の始まりとなりましたでしょうか。

先月の7日には豊浦町の成人式があり、今年度は記念すべき第70回という節目の年でもありました。

この成人式であります。元々は国が考えた行事ではなくて、埼玉県の蕨町(現在は蕨市)が1946年11月22日に実施した「青年祭」が発祥とされています。当時、この町の青年団長さんが、第二次世界大戦の敗戦を受けて、先行き不安な状況を思い虚脱状況に陥っている青年たちを何とか励まそうとの思いで、この「青年祭」を企画したそうです。そして、この行事が評判となり1948年の祝日法で公布され、49年から1月15日が「成人の日」として制定され、今日に至っております。

今回、本町の成人式に参加された方は、男性13名、女性8名の計21名ですが、この学年の卒業生は24名でしたので、やはり故郷で成人式を挙げたいと思う人が多かったのではないかと考えます。それにしても、今年の成人式の日には、晴れ着をレンタルする業者が当日になって休業し、予約などをしていただいていた成人の方が成人式に参加できない状況になるなど、一生に一度の日が

残念な日になる人もおりました。成人式には、「大人になるという意識を持つとともに、責任や良識のある行動で飛躍していただきたい。」という願いが込められておりますが、その先達である大人がそのような行為をすることは決して許されない行為であると考えます。

今回成人された方々には式辞の中で、人口減少が進むこれからの社会において、「お互いに助け合い支えあうことが必要となりますので、ぜひ、生きることの目標のひとつに『人のために役立つ人になる。』その意識を持って、これからの人生を歩んでいただきたい。」とお話しました。

学校の方は、3学期を迎え1年の締めくくりとなります。「終わり良ければすべて良し。」となるように、その年の目標を達成していただきたいと思います。また、中学3年生にとりましては、4月からの進路を決める大事な高校入試が始まります。初めての大きな試練ということで不安な面もあると思いますが、必要なことは今まで準備してきたことをしっかりと発揮することです。

体調を整え、当日に挑んでください。良い結果が皆さんに届くことを祈念しております。



1月7日(日)に『とわにー』において、新たに成人となる計21名の皆さんにご出席をいただき、第70回成人式が行われました。

新成人を代表して、記念品の授与を佐竹渚さんが、

誓いのことばを、富澤彰浩さんと本井朱莉さんが、お礼の言葉を菊地海斗さんが堂々と務められました。

式典の後は、豊浦中学校吹奏楽部が演奏をして、先輩たちの晴れの門出を祝っていただきました。